

外ヶ浜町定員適正化計画（抜粋）

平成17年度～平成22年度



平成18年3月

青森県外ヶ浜町

【定員管理の適正化（退職者数及び採用者数の見込み、平成22年4月1日における定員目標を明示）】

● 一般行政職

平成17年4月1日現在でモデル定員^{*1}数を10人超過しているものの退職者不補充のまま推移していくと、平成22年4月1日現在では一般行政部門と特別行政部門の合計では30人を超える退職者に達することから、合理的かつ計画的な職員配置が求められる。計画年度より3年を待たずして、年齢構成等にひずみが生じる可能性があることから平準化を図る職員採用も新たに検討します。

平成17年度総職員数に対して31人^{*2}の削減(▲12.4%)を図るものであり一般行政においては26人^{*3}の削減(▲18.6%)を図ります。

定員適正化の推進方法は、一般行政職の退職者の補充は退職職員数に対して、原則5分の1に抑えるものとします。業務職（単純労務職員）については、退職者不補充により職員数の削減を図ります。

本庁における事務事業の一括管理を段階的に推し進め、支所における窓口業務の充実と同時に管理部門の本庁への統合を図り、併せて業務内容と定員適正化については随時見直しをします。

また、民生部門の資格職員についても機関の統廃合に合わせた検討を進めます。

技能労務職の退職者不補充においては、期限付き臨時職員での対応や事務事業の委託を進め、事務職においても対応可能な分野は期限付き臨時職員の積極的な活用を検討し、人件費の抑制と雇用の発生を促していくこととします。

● 特別行政職

特別行政（教育）については、中央教育審議会の答申を踏まえた地方教育行政の在り方や、外ヶ浜町の教育方針に沿った職員数の配置に努めるものとし、公の施設の統廃合や指定管理者制度の導入による効率的な職員配置を行うなどの方法により適正化を進めるものとします。

● 公営企業

公営企業においては、財政計画に沿った職員の適正配置に努め、採用に当たっては将来にわたり年齢構成等にひずみが生じないよう平準化を図るなど適正化を進めるものとします。

● 定員適正化計画による人件費の削減効果

定員適正化計画の実施による年間人件費の削減効果については、今後の財政状況や財政収支等を見極め、随時検討を進めていきます。

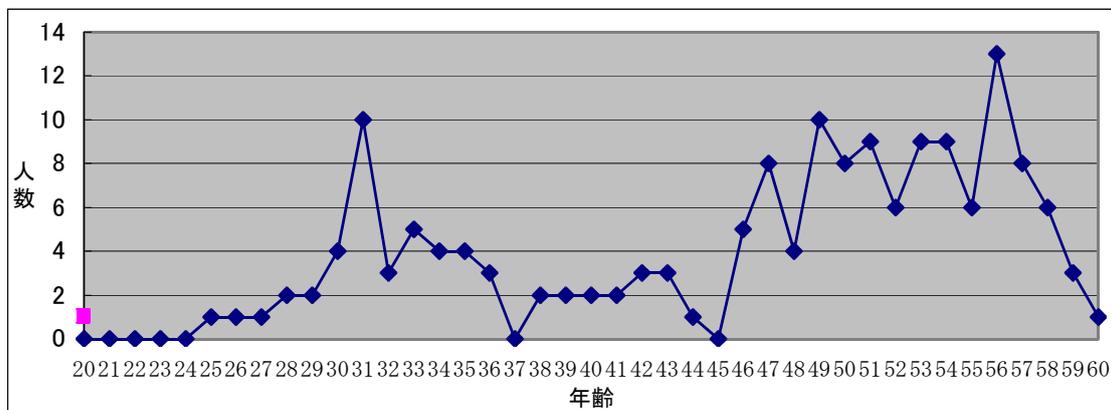


表1【部門別職員数計画】

【適正化目標】一般行政部門 26人削減 (期間適正化率 Δ 18.6%)
 特別行政部門 0人削減 (期間適正化率 0.0%)

	計画年度	計画期間の状況(人)						H22.4.1	期間内計	
		平17	平18	平19	平20	平21	平22	人数	削減率	
一般行政部門	退職者(見込)数		Δ 2	Δ 3	Δ 6	Δ 8	Δ 13		Δ 32	
	採用者(見込)数						6	6		
小計	現員(4.1現在)	140	140	138	135	129	121	114	Δ 26	Δ 18.57
	対前年増減数		0	Δ 2	Δ 3	Δ 6	Δ 8			
特別行政部門	教育	退職者(見込)数							0	
		採用者(見込)数							0	
	消防	退職者(見込)数							0	
		採用者(見込)数							0	
小計	現員(4.1現在)	22						22	22	0.00
	対前年増減数									
総計	退職者(見込)数	0	Δ 2	Δ 3	Δ 6	Δ 8	Δ 13		Δ 32	
	採用者(見込)数							6	6	
	現員(4.1現在)	162	162	160	157	151	143	136	Δ 26	Δ 16.05
	対前年増減数		0	Δ 2	Δ 3	Δ 6	Δ 8			

表2【外ヶ浜町一般行政部門+特別行政部門の年齢別構成人数の推移】



※1 モデル定員とは、人口、面積及び道路延長など地方公共団体の行政需要と関連が深いと考えられる指標と職員数との関係を統計的手法により分析し、参考となる職員数を算出できるように、作成された算式のことです。対象となる職員は、地方公共団体が自主的に定員管理に取り組むことの出来る分野の多い一般行政部門であり、教育、消防、公営企業などの職員は対象外です。

※2 数値は、表3の退職者数の計欄に採用予定者数を加えた数値。

※3 数値は、表1の一般行政部門の期間内計欄の小計の数値。



表3 【外ヶ浜町全部門退職見込者数】

		職員数	H17	H18	H19	H20	H21	退職者数	一般行政職人数	113人					
1	一般事務職	156	2	2	7	9	8	28	その他の職	43人					
	一般行政	113	/							比率	72.4%				
	教育	21													
	病院	4													
	水道	3													
	下水道	3													
	その他	12													
2	医師	6													
3	看護師	33		1				1							
4	保健師	9													
5	医療技術者	9													
6	一般技術者	8													
7	栄養士	1													
8	保育士	16		1			4	5							
9	運転手	7			1		2	3							
10	調理員	3													
11	その他技能職	1													
12	教育公務員(教育長)	1													
	計	250	2	4	8	9	14	37							
	一般行政一般事務補正後人数	113	2	1	5	7	6	21							

一般事務職に占める一般行政職の割合

